
いつも観察者な男子が主人公になったら

彩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつも観察者な男子が主人公になったら

【Nコード】

N9486X

【作者名】

彩

【あらすじ】

名前：椿野聖夜（15）

容姿：容姿端麗、黒髪黒目（切れ長）バレナイ程度にワックスをつけてる

趣味：周りの人の観察。（ほぼ習性）

特徴：黒縁めがね。

〓 あらすじ 〓

小学校、中学校と周りの人を観察してきた椿野の話。

「ふうん、斉藤ってそういう趣味があったんだ。」

「だ、誰にも言わないでよね!？」

・ と、まあこんな感じで弱みを握っていき嫌われるのかと思いきや・

1、プロローグ

AM 5:00

ピピピピピピピピピピ カチッ

「ん~~~~」バキボキ

ねみい、あ、ども。俺、椿野聖夜。つばきのせいや ちなみに12月25日生まれだ、プレゼントは1個だ(T|T) 今から開桃かいとう高校一年生だ!!
あ、今の言葉でわかんと思うんだけど今日は入学式!!

「お兄ちゃん誰に話しかけてんの？」

「読者の皆さまに決まってるんだろ。」

「・・・頭だいじょぶ？お母さんが早く降りてこいだってさ!!」

「はいよー。」

今は俺の妹で日向、ひなた ツンデレ体質だ(笑)

この前なんて「べ、別にあんたのためじゃないんだからね!!」とか言つて・・・る夢を見た!!

え？嘘つき？苦情は受け付けないぜ!

「聖夜~~~~!!早く降りて気なさ~~~~い!!」

「はいはい!!」

AM 5:50

「「ごちそうさまでした。」」

「おそまつさま。」

ふう〜今日の朝飯は納豆とご飯(卵付き)。手抜きだな!!

あと10分で6時か……。出る時間までの間がなげえな……。いいや、もう出よ。

「いつてきまゝす。」

「いつてらっしゃい。」

ココからは通学の手順(?)の説明をしよう、まず〇〇線に乗って?? 駅で降りる。んで、バスに乗って

開桃高校前で降りて徒歩1分。合計で30分弱だ!!

……。早く着きすぎたあああ!! 30分弱ってわかってんじゃない!!

なんでこんなに早く着いてしまったんだ!!

最悪……。!!

あゝ暇だな……。誰か来ないかな……

1、プロローグ（後書き）

読んでくださりありがとうございます。

まだ、観察者視点にはなりません。次話ぐらいからかと思われま

す！！

それよりなにより観察者視点に慣れませんか！！！！

どうしよう・・・orz

2、厄日か！？

「おはようございます、開桃高校に入学する方ですよね？」

「はあ、まあ」

「やつぱり！！あたしもそうなんです！！」

誰だ……。

知らない相手にこんなにフレンドリーってどういうことなんだ……。

「あ、すみませんいきなり」

「（本当だよ）いえ、だいじょぶですよ。」

「あたし、さいとくれな斉藤紅那っていうです、よろしく！！」

会話続行！？そして自己紹介！？これってあれだよな……。、俺にも自己紹介を求めてるってことだよな……。はあ……。

「俺は椿野聖夜っていいいます、よろしく。」

はい、会話しゅーりよー

「へー、聖夜っていうんだ！！てことは12月25日生まれ？」

「じゃなかったああああああ！！！！まだ続くの！？これ！！」

「そうだけど……。」

「そうなんだあ！！私はね9月7日生まれなの！！」

だからなんだああああ！！早く人いっぱい来ないかな！！門開かないかな！？俺は他人の観察が趣味なんだよ！？目立つちゃダメなんだよ！？話すより観察なんだあああああ！！！！はあ

はあ……。心の声でこんなに疲れるって歳か？

「ねえねえ、聖夜くんはさあ……」

すでに名前呼び！？この人ツツコミどころ多すぎじゃねえ！？

「なんの部活入る？」

「まだ決まってるないよ？（んなもん決まってるねえよ！！）斉藤さんはどうなの？」

「……………あたしの事は紅那って呼んで？」

「え……………？なんで？」

「え？なんでってなんで？」

なんなの、この子！？知り合ったばかりだからに決まってるだろ！！……………落ち着け俺！！フツーにフツーに！！

「いや、知り合ったばかりでしょ？俺ら？だから、もうちょっとお互いの事を知ってから……………」

あれ？なにこのお見合いの発言！？

俺の馬鹿やろおおおおおおお！！！！！！

「そつかあ、でもあたしは紅那って呼んでくれてかまわないから、呼んで？」

俺がかまうんです！！なんだろーこの困ったチャンは！！！！

「もしかして、聖夜くんって呼ばれるのやだ？」

メンドクせえ…………、正直に言おう。

「嫌じゃないが、君のような容姿の整った子と話していると目立つちやうんだよね。俺、目立つの嫌いだから、話してるの見られたら大変でしょ？だから話しかけ何でほしいし、名前で呼ばないでほしい。」

よし、言った！！これでこの子もはなしかけて来ないだろ！！嫌じゃないのは本当だしな！！

・・・でもなんか静かすぎて逆に心配なのだが・・・チラ見しよう！！

チラッ

「・・・っ・・・。」

「え！？なんで泣いてんの！？」

なぜ泣くううううう！！！！！！

困るじゃん！！！！男は女の涙に弱いんだって！！

「だって、だってえええええ・・・。」

「な、なに！？俺なんか悪いことした！？確かにキツイこと言ったけど！！」

「聖夜くん・・・、ツバキノくんがあたしのこと嫌いなのかなって思っ・・・。」

「なんでそうなる！！！！嫌いじゃないけどさあ！！」

「あゝ！！あんた！！何、紅那の事泣かしてんのよ！！」

「はっ！？バキ！！ぐっ！！・・・てえ・・・。」

なんなんだよ、今日！！厄日か！？困ったチャンその2も来るしさあ、その人にグーで殴られるしさあ・・・。つか、めっちゃいてえ・・・！！

「紅那、大丈夫！？何されたの！？変なことされなかった！？あんな紅那に何したの！？」

「俺！？何もしてねえよ！！」

「じゃあなんで紅那が泣いてんのよ！！」

「玲^{れい}！！誤解だよ！！」

「じゃあなんで泣いてんの？」

「あの、その・・・／／／」

「なぜ赤面する！？」

何なんだよ、ちくしょおおおおおおお！！！！

2、厄日か！？（後書き）

読んでくださりありがとうございます！！

「どうにかなるよね！！てか何が何でもどうにかする！！！！！！」

の方に力を入れるので、不定期更新となります。

次話もよろしく願います！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9486x/>

いつも観察者な男子が主人公になったら

2012年1月8日18時51分発行